

■部会 Report

技術部会の活動紹介

日本風力発電協会 代表理事／技術部会長 **赤羽 博夫**
株式会社日本製鋼所 新エネ・環境部 部長

1. 平成 20 年度活動報告概要

本部会では「洋上風力」と「保守メンテ」にテーマを絞る事としてスタートした。

「洋上風力」に関しては情報収集、情報共有を目的とし、研究成果講演、事業者報告、各企業（輸送、据付、保険、他）のプレゼンテーション等を積極的に行い、見聞を広める事とした。「保守メンテ」に関しては各風力事業者からメンテナンス費用、トラブル事例、運転に係る悩み、日本固有のトラブル、復帰に要する時間等の情報収集し集計を試みたが、各事業者とも営業上の機密事項であり情報収集には限度がある事から途中このテーマは断念した。

これに代わり、欧州・米国・中国などにおける「洋上風力発電のインセンティブ」＝電力買取価格の優遇、設備設置申請の明確化、補助制度などを調査し資料化する事により、国内での洋上風力導入促進のヒントとして対外的にもアピールできるような資料を作成する。

2. 部会委員の意見交換

* 世界各国における発電電力の買い取り制度について

世界各国の発電電力買い取り制度や単価について、JWPA 会員の中にも説明できる人がほとんどいない状況である。少なくとも風力発電導入量上位 10 位程度までの国の政策や電力単価は知っておくべきである。

* 初期投資への補助

世界各国が風力発電（洋上風力含む）を導入する際に、国としてどのような制度があるのか理解する事が必要。

* 洋上に風力発電設備を設置することの「権利」の明確化

例えば、英国では海岸線 22 km 沖合までの土地の所有権は国王が保有し、管理はクラウンエステートが行っている。英国貿易産業省は、クラウンエステートと協議の上、

洋上風力の適地を指定、クラウンエステートは風力事業者から借地の申し込みを受ける。このような制度が日本にも必要なのではないか。

* 電力会社の導入義務

諸外国の R P S 制度について調査する必要がある。現在、日本が世界と比較してどのような状況にあるのかが不明確。

* 勉強会、ロビー活動などを行う上で、日本の風力発電導入量・制度が諸外国に対してどのような状況にあるのか簡単な説明資料を作成する必要がある。

* 報道記事に対して一方的で間違った報道の場合はきちんと JWPA として反論すべき

* 低周波問題、騒音・バードストライクなどについても JWPA としてきちんと説明責任があるのでは？

3. 方針

* 日本と諸外国を比較する為に、風力発電導入量上位 10 位程度の国に対して、風力発電導入量、国の政策、発電電力買い取り単価、補助制度、R P S 制度などについて分かり易いように一覧表にまとめる。

* B T M や ウィンドパワー マンスリーなどを参考に情報収集を行う。

* 国別に担当者を決めて、それぞれが最新情報を書き加えることによりフォローを行う。

* 技術部会で毎回最新報告を行う。

* JWPA 国際部会に諸外国と日本の比較一覧表のような資料がないか確認し、無ければ技術部会で作成する旨の了解を得る。

4. 実行方法

* 世界各国の洋上風力発電に関する動向調査については、第 8 回技術部会にて各社が担当国を持ち、それぞれ調査を行うことで出席者の賛同が得られており、これを受けて、大成建設様より調査の進め方、及び、各社への調査対象国希望調査表に関する

ご提案がなされた。

- * 調査の進め方、及び、調査項目に関して、何かベースとなるデータをもとにして行うことが提案され、最新のBTMレポート(4月発行予定)を参照し、決めてゆくことにする。
- * 調査対象国に関しては、欧州 12 カ国に米国、カナダ、インド、中国として、各社よりの調査希望を募ることとする
- * JWPA 国際部会にもこの技術部会にてこの動向調査を行うことに関する確認を行う。
- * BTM の最新レポートを購入した会社はその内容を部会員に情報を提供する。
- * 調査項目は各国の導入促進施策とするが、具体的項目は今後検討する。
- * 会員各社で洋上風力に興味の無い会社は申し出てもらうなど、進めながらやり方は適宜見直して行くこととする
- * JWPA 名で、各国の風力発電協会、大使館にアンケート・調査依頼を送付する案が提示されたため、理事会での確認を行った上で、送付する文面等を作成することとした。

5. 各月部会活動状況

第2回部会 2008年8月19日

1. 環境省「国立環境研究所と三菱総研JVへ発注されたフローティング型洋上発電実証試験に係る基礎的技術開発事業委託」／Jパワー 齋藤氏
環境省及び三菱総研より協力依頼。内容は「洋上風力の現状と技術課題、アンケート、候補海域の考え方」。これを当技術部会で受注可能かどうか諮ったが受注しない事とした。
2. 「2008年度技術部会活動方針策定の為の参考資料」／E&E 中尾氏
欧州における洋上風車のサイト、導入量、予測、維持管理コスト、課題等をベースに国内の可能性、研究行程、課題等を紹介。
国内における風車の故障・事故状況について事業者、メーカーからの回答をベースに集計したものを紹介。

第3回部会 2008年9月16日

「第3回国際フォーラム 浮体式風力研究成果」/東京電力(株)技術開発研究所設備基盤技術グループ主任研究員 福本氏よりご講演頂いた。

第5回部会 2008年11月18日

「JWPA風力発電団体保険の現状」／日本興亜損害保険(株)公務部第一課高木氏よりご講演頂いた。

第6回部会 2008年12月16日

「洋上風力への取り組みについて」／IHIマリンユナイテッド重満氏よりご講演頂いた。
1) 浮体式洋上風力発電 2) 浮体式洋上風況観測システム 3) 超大規模洋上風力発電浮体の検討

第7回部会 2008年1月13日

「重防食塗装技術の現状について」／旭硝子(株)高柳氏、武藤氏よりご講演頂いた。
同社開発製品のルミフロン(フッ素系塗料)の特性、実績等をベースに重防食塗装技術の現状について

第9回部会 2009年3月17日

「重量物吊具について・独ルッド社製吊り具に関して」／(株)ストルツコーポレーション平松氏藤井氏／大洋製器工業(株)渡辺氏、岡室氏よりご講演頂いた。

第10回部会 2009年5月14日

洋上インセンティブ調査対象国 希望調査表配布、世界各国の洋上風力発電導入促進関連諸制度について、NEDO 海外レポート No. 1031, 1032、「Feed in Tariffs: 固定価格買取制度 global future 2008」等の内容確認を実施した。

第11回部会 2009年5月14日

平成20年度活動報告及び平成21年度活動計画の読み合わせ実施。
風力発電機用潤滑油とメンテナンスについて出光興産様よりプレゼンテーション実施。

第12回部会 2009年6月18日

低周波騒音の基礎および伝搬・影響・評価に関して、日本風力エネルギー協会開催のセミナー資料をベースに報告を実施。
洋上風力インセンティブ調査について各社割り当て国の事前調査概要をまとめ。